

建築EPのカリキュラム

秋学期	統計学Ⅱ-C※	品質管理 流体力学 医・工学連携基礎	
4年			
春学期	統計学Ⅰ-C※	応用数学Ⅰ 移動及び速度論A 総合応用工学概論 工学基礎実験Ⅰ 工業経営 知的財産権	
秋学期		応用数学演習A 応用数学演習B 溶接工学概論	
3年			
春学期		安全工学概論	
秋学期	統計学Ⅱ-C※	微分方程式Ⅱ	
2年			
春学期	統計学Ⅰ-C※ 関数論※	情報処理概論	教養コア科目・ 健康スポーツ 英語・第二外国語
秋学期	国学Ⅱ※ 解析学Ⅱ※ 線形代数学Ⅱ※ 国学Ⅰ※ 解析学Ⅰ※ 線形代数学Ⅰ※	微分方程式Ⅰ※ 物理学ⅠB 基礎化学 物理学ⅠA	フォーミュラー 設計製作
1年			
春学期			
学年 学期	工学基礎 専門基礎教育		教養 教育
一 般			

※:選択必修(専門基礎科目)

建築専門分野への萌芽と探求	卒業研究※※				
	卒業論文または卒業設計(AT、UE、SE) 卒業設計(AD)				
	建築デザイン スタジオⅡ				建築ゼミ
	建築デザイン スタジオⅠ	建築デザイン スタジオⅠ	地域環境 計画演習 設備計画Ⅱ 建築法規	建築構造・ 構法設計演習 建築材料実験 建築生産	
建築への素養	デザイン スタジオⅢ※※	日本建築史 公共施設の計画 建築史演習	音・光と建築環境 設備計画Ⅰ 都市計画と まちづくり 建築・地域 環境計画Ⅱ	建築材料 鉄骨構造・演習	
	デザイン スタジオⅡ※※	近代建築史 建築計画の基礎	熱と建築環境 都市と都市計画★ 建築・地域 環境計画Ⅰ★	建築構法 鉄筋コンクリート 構造・演習	
	デザイン スタジオⅠ※※	西洋建築史 居住空間の計画★	屋外気候と 建築環境★ ランドスケープ論	建築構造計画 建築構造解析Ⅱ ・演習	
	身体と空間の デザイン			建築構造解析Ⅰ・ 演習	絵画・彫塑 基礎デザインⅡ 絵画・彫塑 基礎デザインⅠ 建築学概論・ 演習※※
建築への道筋	AD 教育	AT 教育	UE 教育	SE 教育	表現力 教育
専 門					

※※:必修(建築専門科目) ★:地域交流科目 太文字:コアカリキュラム 無印は一部を除き選択必修科目

卒業研究		
卒業研究は学部における学習の集大成である。建築学コースの場合は、卒業論文または卒業設計のいずれかを選択する。第4学年当初に各研究室に所属し、各教員の指導により建築学の専門分野に関するテーマを選定して個別の研究または設計を行い、論文または設計の形で成果をまとめて発表を行う。		
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅡは、将来、建築家を目指す学生を対象とする専門科目であり、「卒業設計」を選択する学生は履修を義務づけられている。課題指導では、教師を討議を重ねながら進める計画・設計作業ばかりでなく、講評時の作品表現・発表方法・発表態度・質疑応答も重視している。		
建築デザインスタジオⅠ	地域環境計画演習	建築構造・構法設計演習
建築デザインスタジオⅠは、将来、建築設計分野へ進もうと考えている学生連のための総合的演習科目として設定されている。3年前期までの学習成果を踏まえて建築・周辺環境などを計画・設計するとともに、設計内容を的確に伝える表現力を育てることを目的としている。	建築・地域・都市の環境を生活者にとってより良いもの、持続可能な状態に改善していくためには、建築、地域、都市の環境を眺みとる力が必要である。地域環境計画演習では、調査、見学、実験を通して、総合的な技術、手法、知識を身につけることをねらいとしている。	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、木質構造、大空間構造について、比較的小規模で標準的な平面・立面を有する建物を対象に、建築基準法・同施行令および関連法規、建築学会などの基準・指針などに従い、構造設計の基本的な考え方や進め方、骨組の構成や配置などを理解する。
デザインスタジオⅢ		
デザインスタジオⅠ・Ⅱの内容からさらに進んで、高い社会性と複雑な機能を持つ建築物の設計をおこなう。空間・環境の把握、設計条件の整理分析、構造・建築形態の決定、などを通じて建築デザインの方法とその意味を追求する基礎的な力を学ぶ。公共施設等の演習課題を通じて、総合的に設計を遂行する能力を身につける。		
デザインスタジオⅡ		
建築学専攻過程で学んだ知識を総合し、建築および都市の空間と環境を具体的な実体として提案する。建築空間の特性とつくり方の基本を学ぶとともに、身近な生活の場である住居などの設計を通してデザインの方法を学ぶ。		
デザインスタジオⅠ		
建築の図面表現を読みとる能力や基礎的な表現能力を身につける。また、建築や街並みの空間構成を把握しスケール感覚を身につけることによりデザインスタジオⅡ以降に必要とされる基礎表現技術を習得する。		
身体と空間のデザイン		
建築のデザインは社会性をもつことがあらかじめ要求されている。また、建築物は集合として都市を形作り、時間の経緯の中で実体として残されていくものである。建築とは何かという大きなテーマをもちながら、あたりまえのなかから発見する想像力や分析的に事物を観察するトレーニングをおこなう。		
AT Architectural Theory AD Architectural Design UE Urban Environment SE Structural Engineering		